

関東大学サッカーサポーターズクラブ

サポーターズクラブ会員



年会費 継続：2,500円
新規：3,000円

会員限定 HP の閲覧



シーズンパス会員



年会費 5,000円

年間のリーグ戦が無料で観戦可能

↑ユニバ光州大会日本代表発表記者会見の様子を掲載しました! ↓



同時入会会員



年会費 継続：7,000円
新規：7,500円

同時入会だとさらにお得!

入会方法の詳細は、関東大学サッカー連盟公式 HP 内右上にあるサポーターズクラブ欄をご覧ください。
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-10-15 JFA ハウス 7F
(一財)関東大学サッカー連盟 関東大学サッカーサポーターズクラブ
E-mail:kuss@jufa.jp TEL:03-3830-1850

ユニフォーム型ストラップ

各大学のユニフォーム型ストラップを
ゲートにて500円(税込)
で販売しております!

大学サッカー公式応援グッズ♥

ゲートではその他、本大会公式プログラム
昨年度の全日本大学選手権プログラムなど
販売しています♪

ぜひゲートにてお買い求めください!

集中応援情報

【第9節】
* 拓殖大学
5月17日(日)13:50 Kick Off
vs 拓殖大学
◎ 東京国際大学第一サッカー場

【第10節】
* 拓殖大学
5月24日(日)11:30 Kick Off
vs 産業能率大学
◎ 多摩市陸上競技場

集中応援はWスタッフ!

◎ 来場お待ちしております!

大

JR東日本カップ 2015 第89回 関東大学サッカーリーグ戦

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM



Division 2 2015-No.9

発行：(一財)関東大学サッカー連盟 協力：五味亜矢子、関東大学サッカーサポーターズクラブ

勢いの止まらない日体大! 前期リーグも終盤戦へ

連戦の締めくくりとなったJR東日本カップ2015第89回関東大学サッカーリーグ戦第8節。

9日(土)、保土ヶ谷で行われた青学対拓大の一戦。前半は青学が大主導権を握り得点を挙げても、後半に失速。逆に勢いに乗った拓大に1点を返され、勝ち点1を分け合う結果に。続く東洋対開学大の試合。開学大が先制点を挙げても、現在得点ランキング首位の遊馬(4年)がゴールを決めて同点に追い付く。このまま引き分けかと思われた試合終了間際、開学大が立て続けに2得点を挙げ、勝ち点3を獲得した。BMW スでの日体大対日大の一戦は、なかなか

得点ランキング		アシストランキング	
遊馬 将也(東洋大)	8点	木村 魁人(開学大)	5アシスト
高井 和馬(日体大)	6点	仙頭 啓矢(東洋大)	5アシスト
藤井 貴之(日体大)	6点	戸崎 祥部(筑波大)	5アシスト
北川 柊斗(筑波大)	6点	渡辺 直(日体大)	4アシスト
以下 5点 4名		以下 3アシスト 2名	

大も試合終了間際に1点をあげるも反撃はここまで。朝鮮大が今季2勝目を飾った。続く東学対産能大の試合は、2度のリードを奪った産能大が逃げ切るかと思われたが、試合終了間際に東学大が1点を返し同点とした。

に対し筑波大が5得点を挙げ、勝ち点を積み上げた。

いよいよ前期リーグも残り3節に。ますますヒートアップする戦いに注目!

10日(日)に行われた朝鮮大対東海大戦は、朝鮮大が前半に2点を先取。東海

JR東日本カップ2015第89回関東大学サッカーリーグ戦 2部星取表

[2部第8節終了時]

チーム名	日体	開学	筑波	東洋	青学	朝鮮	東学	東国	拓大	産業	日本	東海	勝点	試合勝点	勝数	分數	負數	得点	失点	得失点差	順位	
日本体育大学			100		301		200	300	201	401	500	100	24	8	8	0	0	21	3	18	1	
関東学院大学				301	502	100	504		102	201	300	301	21	8	7	0	1	23	11	12	2	
筑波大学	001					402	001	502	400	501	402	201	18	8	6	0	2	24	10	14	3	
東洋大学		103				002	101	000	201	401	400	701	14	8	4	2	2	19	9	10	4	
青山学院大学	103	205				303	100		101	200	401	201	14	8	4	2	2	16	14	2	5	
朝鮮大学校		001	204	200	303			000	303	101		201	10	8	2	4	2	13	13	0	6	
東京学芸大学	002	405	100	101	001		200			202	001		8	8	2	2	4	10	12	-2	7	
東京国際大学	003	205	000		000	002				204	100	300	8	8	2	2	4	8	14	-6	8	
拓殖大学	102	201	004	102	101	303					101	202	7	8	1	4	3	11	16	-5	9	
産業能率大学	104	102	105	104	002	101	202	402						5	8	1	2	5	11	22	-11	10
日本大学	005	003	204	004	104		100	001	101					4	8	1	1	6	5	22	-17	11
東海大学	001	103	102	107	102	102		003	202					1	8	0	1	7	7	22	-15	12

サッカー部はジールで決める!

体育会系学生就職支援企業

Zeal Athlete Agency



体育会系学生のための
リクナビ就職エージェント

どうせなら、勝って泣きたい。

部活と就活にエールを送る! 体育会系学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

PRECRUIT

東洋大学 VS 青山学院大学

5月17日(日)
11:30
東国大G

この3試合、勝利から遠ざかっている東洋大。前節は2位・関学大との重要な一戦だったが、終盤に失点を重ねて1-3と痛い敗戦を喫した。前半は一進一退の展開で、お互いに攻め切らずスコアレス。後半、71分に先制され84分に追い付いたが、さらに攻めにかかったところで裏を突かれ、88分とディショナルタイムに失点した。上位追撃のためには、これ以上負けられない。

一方、拓大と1-1で引き分け、連勝が4で途切れた青学大。それでも、79分と同点弾を許した後の相手の猛攻を凌ぎ、勝点1をゲットしたことは評価に値する。第3節まで1-2敗を喫して以降は負けなかった、5位につけている。今節は勝点と並ぶ4位・東洋大との重要な一戦で、今季の勝負強さの真価が問われる。課題は引き続き、自分たちの時間帯にどれだけ攻め切れるかどうか。

3回警告: 遊馬将也(東洋大) / 澤井政樹(青学大)
出場停止: なし
昨年度対戦: 東洋大1-1 青学大 / 東洋大2-2 青学大

高橋宏季(東洋大・MF・1年)
先制されて厳しい流れの中で得点に追いついたことはよかったが、追加点を取れなかったことが敗因だと思う。ゴール前に行くと、セカンドボールを拾うことを意識した。
まだ得点が少ないので自分自身も貪欲にゴールを狙って、失点しないことを第一に勝点3を奪いたい。



角倉健介(青学大・FW・4年)
立ち上がりがあり良くなかったが、先制しても勝れないことを意識していました。先制点を取れたのは良かったけれど、ラインを上げてプレーすることを大事にしていたのにも関わらず、後半にラインが下がってしまっただけが課題です。個人的には2、3点取ってチームを助けたい。必ず勝利したいです。



東京国際大学 VS 拓殖大学

5月17日(日)
13:50
東国大G

前節、筑波大に大量5得点を奪われ、2-5と完敗してしまった東国大。オウンゴールながら先制点を奪い、2度にお互いに先行したものの、逆転負けを喫した。積極的なシュートシーンを作り出し、2-1としたところまでは良かったが、64分以降の6分間で許した立て続けの3失点が痛かった。攻撃の形ができてきたことは明るい材料だけに、流れの中から得点につなげていきたい。

対するのは、青学大と1-1で引き分け、今季4試合目の引き分けを記録した拓大だ。前半は先制点を許したものの、後半は攻守の切り替えを修正して運動量が増し、主導権を握り返して79分に今季初スタメンのFW平井峻也(4年)が見事なルーブシュートを決め同点。その後最も決め込んだが、勝ち越し点は奪えなかった。後半のような切り替えの速さと集中力で、勝点3を狙いたい。

3回警告: 楠本卓海(東国大) / 新山祐弥(拓大)
出場停止: なし
昨年度対戦: なし

中村彰吾(東国大・DF・1年)
点を取れたのはよかった。完敗だったが、収穫もあったので次に挙げたいと思う。チームはいい雰囲気なので次は勝てると思って頑張りたい。



畠田博斗(拓大・MF・2年)
前半は流れが悪かったが、後半は勝ちにいきこうと気持ちを持ち替えた。その中で引き分けだったので勝ちたかったという気持ちがある。常に前向きなプレーが持ち味なので、前にボールを運ぶことを意識した。みんなで気持ちを前面に出して勝ち点3をしっかりと取りたい。



東京学芸大学 VS 東海大学

5月17日(日)
11:30
東海大G

2連敗中だった東学大は前節、産能大と対戦し、2-2で引き分けた。お互いに攻め合って決定機も多く作り出したが、2度にお互いに先行され、常に追いつける展開になった。それでも、8位に順位を落としていたこともあり、これ以上の連敗は許されたいという状況で粘りを見せ、87分に追い付いた。久々の2得点と明るい材料でもあるが、速攻を狙う東海大に対し中盤でしっかりとボールを持てるかが鍵。

その東海大は現在3連敗で、前節は朝鮮大に1-2で敗れた。前半で2失点を喫したが、ミスも絡んだ失点だけでなく防げた失点。後半はセカンドボールを拾えるようになり積極的に仕掛けたが、得点は85分と遅きに失した。「局面で負けていた。戦えていなかった」(後藤太郎監督)。この3試合を見れば引き分け試合以外はすべて1点差の惜敗。初勝利に向け、我慢の時だ。

3回警告: なし
出場停止: なし
昨年度対戦: なし

澤澤石京(東学大・MF・3年)
今節は決めるべきところで決めることができず苦しい展開になってしまった。勝ち切れず悔しい。負けが繰り返しているため、(ゴール)を決めようと思っていたので決めることが出来てよかったが、勝ちにつながらなかったのが残念だ。次節こそは勝ちます!



堀田大暉(東海大・GK・3年)
今のチームの課題である立ち上がりの悪さが敗因だったと思う。次節からホーム3連戦なので何とでも勝点3を全力で取りにいきたいと思います。



筑波大学 VS 関東学院大学

5月17日(日)
13:50
東海大G

昨季1部チーム同士の対戦を5-2と大勝利、3連勝を飾った筑波大。3試合で13得点と攻撃陣が好調だ。22分にCKからのオウンゴールで東国大に先制点を許す嫌な立ち上がりとなったが40分に追い付き、後半開始早々の47分にまたもセットプレーから勝ち越されたものの、64分・67分・70分と立て続けに得点で突き放した。目立つ後半の勝負強さで、2位の関学大に勝点を並べたい。

その関学大は、1敗は喫したものの首位の日体大にびつたりつけている。前節は東洋大と対戦し、シュートは6本と少なめだったが3-1で勝利した。ボールを持たれる時間帯も多かったものの、ゴール前で固い守備を見せて1失点に抑え、84分と同点とされた終盤に勝ち越し。途中出場のFW三橋秀平(3年)が全得点に絡む活躍を見せた。好調・筑波大との対戦は1部リーグ挑戦への試金石だ。

3回警告: なし
出場停止: なし
昨年度対戦: なし

金津雄生(筑波大・MF・1年)
相手に先制を許すのが苦しいゲームになったが、最後逆転して5-2という結果で勝つことができて嬉しい。今節の日体大は首位に立っているため、少しでも追いつくためにしっかりと勝ち点3が取れるよう頑張りたい。



高橋敬真(関学大・FW・4年)
今までなら引き分けや逆転で勝つてよかったところを、今日はみんなの気持ちで勝つてよかった。こつこつとゴールでゴールに繋がったことは大きい。前期の残りは後期に繋がる大事な試合。全部勝って後期に勢いをつけたい。

日本大学 VS 産業能率大学

5月17日(日)
11:30
日体大G

首位の日体大に0-5と完敗し、ついに5連敗を喫してしまっただけは、11位と下位に苦しんでいる。今季全勝の日体大に主導権を握られ、シュート数も3-17と圧倒された。前半こそ1失点で踏ん張っていたものの、52分に1点目を奪われたあと55分、そして70分と、なんと2点をオウンゴールで奪った。悪い流れを断ち切るためにも、一つ一つの順位の日体大に先制点を奪って勝点3を狙いたい。

その産能大は前節、東学大と2-2で引き分け、3試合負けなしと調子は向上したが、2試合連続で試合終盤に追い付かれての引き分けだけに、惜しい勝利を逃している印象も強い。テポポの良い攻撃で2度先行しながら「ピハインドになれば相手は攻めてくる。そういう試合の流れを感じないといけない」(加藤望監督)。自分たちのペースは作れており、「次のステップ」(同監督)を目指したい。

3回警告: なし
出場停止: なし
昨年度対戦: 日大3-0 産能大 / 日大1-2 産能大

池田奨(日大・MF・4年)
連敗の流れを断ち切ることが出来ずに大量失点を許してしまい、惜ない試合をしてしまった。次節に向け、勝つための準備をして挑みたい。



見留羅大(産能大・FW・4年)
今節は勝ち切れなかったのに残念だが、ゴールを決めることができてよかった。あとは(追加点を)決めるだけだった。次節は勝点を重ねるために、得点を取ることができるようになりたい。

日本体育大学 VS 朝鮮大学校

5月17日(日)
13:50
日体大G

首位を独走する日体大。前節も日大を5-0と一蹴し、ついに8連勝となった。オウンゴールによる2得点を含むものの、久々に攻撃陣が爆発。前半や攻め切れなかった印象もあるが、相手の反撃を許さず4試合連続の無失点勝利と守備面の安定感も群を抜く。勢い、自信、攻守のバランスと死角はないように見えるが、今までなかったパワーサッカーの相手との対戦に油断は禁物だ。

対する朝鮮大は、徐々に調子上げてきた。前節は東海大を2-1で下し、これで3試合負けなしだ。前半で2点を先行し、後半は攻撃に出てきた東海大に押し込まれるもMF康貴成、DF根崎紀、GK李在根(いずれも4年)のセンターラインを中心に反撃を1点に抑えた。6位に浮上し、日体大の連勝を止めるべく意気込む。パワーのぶつかり合いに注目したい。

3回警告: 増谷幸祐、高野遼(日体大)
出場停止: なし
昨年度対戦: なし

朴大 宇フレイズ(日体大・DF・2年)
試合への入りかたが大事なため、チームとして集中して試合に入ることが意識した。前半1点しか取れず苦しい展開だったが、後半は相手の背後をうまく使えて4点取れたのが良かった。次の試合も勝ちたい。



韓勇大(朝鮮大・FW・1年)
決め切れるチャンスが多数あった中、1点しか決めることが出来ず、結果2-1とギリギリの試合になってしまった。日体大は全勝中だが、朝鮮大の魂の戦いで絶対に勝ち切りたい。